



人権平和資料館だより

2012. 6

HUMAN RIGHTS & PEACE 第 206 号

人権と平和は
21 世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内 1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

チェルノブイリ 25 年, そして福島

…2012 年 6 月 29 日(金)～7 月 29 日(日)…

2011 年 2 月, 広河さんは 25 年が経過した「チェルノブイリ」を取材するために現地を訪問しました。チェルノブイリ原発から 30 キロ圏内は, 今も居住禁止区域のままで, 人が住めない廃墟となっています。今回展示する作品は, その時に撮影された 26 点です。

そして 3 月 11 日, 東日本大震災が発生しました。直後, 広河さんは万難を排して現地に入り, 地震・津波による被害の実態, そして福島第一原発事故による地域の変貌を伝えていきます。今回展示する 24 点の貴重な写真は, 津波と原発事故により消えていった, 命・くらし・地域や街を記録しています。

チェルノブイリ 25 年



廃墟になったプリピャチの幼稚園で
(2011. 2 撮影)

プリピャチという街は, 国家のエリートである原発関係の科学者や労働者のために造られた, 軍事秘密都市でした。教育文化水準の高い美しい街で, この幼稚園でも, 子どもたちの楽しそうな歓声に包まれていたことでしょう。

そして福島



住民の立入りが禁止された, 南相馬市の
20 キロ圏内の地域 (2011. 3 撮影)

この地域の多くの人は, 避難生活が長くなるとは思わなく, ほとんどの人が着の身着のままだった。津波で孤立していた状態から, 自衛隊のヘリで救助されたと思ったら, 今度は放射能で, 30 キロ圏外の場所へ避難を余儀なくされた。

原発について考える学習会

ドキュメンタリー映画 「核燃料 サイクル」 (60 分)

入場無料

■ 日時 : 7 月 12 日(木)・13 日(金) いずれも 18:30 ~ 19:30

■ 場所 : 福山市人権平和資料館



緑丘小学校4年生が人権平和資料館見学の感想を送ってくれました。ありがとうございました。

「見学して思ったこと」

私は母子三人像を見て、今すんでいる平和な日本でも、67年前は、池田さんみたいな人が、たくさんいたんだなあと思いました。私たちよりもっと小さい子どもたちが、たくさん亡くなっていったんだなあと思いました。

B29が91機やって来て、約1時間も、しょうい弾を落としたなんて、今では考えられないほどで、こわいことです。原ばくで、今でも亡くなっている人がいることを聞くと、もう戦争なんてぜったいしたくないし、させてはいけません。そのためにわたしたちができることは、よその国と小さなけんかをしないようにすればいいと思います。小さなけんかでも、大きなけんかになるからです。

生命がある星は地球だけだから、いつまでも平和で仲よく暮らしたいという願いが、あの地球の写真に、こめられていることが分かりました。今日は戦争のことを教えてもらい、今の日本が平和だということを、あらためて知りました。

「怒りと悲しみ」

B29が全部で91機来て、しょうい弾を落としたことを聞きました。最初に来た10機が四千発の（油脂）しょうい弾を落とし、続いて来た81機が、約18万発（集束爆弾）も落とすなんてひどい、なんでそんなに落とすのと思いました。

次に、母子三人像の話を聞きました。池田さん親子は、空しゅうがおきて田んぼに逃げたけど、熱風で稲に火がついて、焼け死んだそうです。二人の子どもを守ろうとしたお母さんを、とてもえらいと思いました。

最後に展示物を見ました。戦争の頃は、主に芋を食べていて、私たちは色々な物が食べられるので、本当に幸せだなと思いました。

私のそう祖父の家には、兵たいさんの服を着た若い男の人の写真があります。その人は、そう祖父のお兄さんの写真で、戦争で亡くなったそうです。今は、私の身近な人で戦争について知っている人はいません。今日は、色々な話が聞けて良かったです。今も私がいらないところで、戦争が起きています。もう、こんな戦争はやめてほしいです。

「心に残ったこと」

福山空しゅうの話を聞いたり、展示を見たりして、ぼくが心に残ったことは、2つあります。1つ目は、母子三人像です。とても大きな像でした。ぼくは3人きょうだいの、いちばん上です。だから、お母さんの気持ちが分かるような気がします。子どもをはなそうとしても、はなれなかつたくらい、子どもを大切にしているんだなあと思いました。

2つ目は、戦争のことです。さい後には、油や金ぞくがたりなくなりました。それなら、やめればいいのに、お寺のかねや松の油まで使って、戦争を続けたことがおかしいです。

さらに、食べるものも大変だったそうです。朝昼夜のどのご飯にも、いもが入っていて量も少なかったです。戦争は、もう二度と、あつてはいけないと思いました。